

令和6年度 鶴ヶ城大茶会

だい にほん ちゃ どう がっ かい

大日本茶道学会 会津若松支部

大日本茶道学会は明治31年4月に田中仙樵居士が衰退していた茶道の復興を唱え、京都で創設しました。
仙樵居士は、各流の茶人が交流することにより理論的・学問的に研究し、茶道の精神性を追求し、技の研究実践を目指しました。
こころこめた一服を楽しみいただきたく、ご来席をお待ちしております。

さ どう せき しゅうりゅう そう け

茶道石州流宗家会津支部

会津松平家藩祖「保科正之公」は石州流の流祖「片桐石州公」に茶の湯を学ばれました。
その縁により、ここ会津の地には、石州流が代々受け継がれてきております。
少庵ゆかりの麟閣庭園にて、つり釜点前で秋のひとつときをお過ごし下さい。

おもて せん け どう もん かい

表千家同門会 福島県支部会津方部

表千家では千利休の建てた茶室「不審菴」を歴代の家元が大切に受け継いできました。
また、不審菴は家元の号でもあります。
利休の自刃後、息子の少庵は鶴ヶ城主蒲生氏郷にかくまわれ、その後家康と氏郷の尽力により千家を再興し、現在に致っております。
歴史を感じながら一服の茶をお楽しみください。
ご来席をお待ちしております。

ちゃ どう うら せん け たん こう かい

(一社)茶道裏千家淡交会 会津支部

淡交会は裏千家今日庵の直轄団体です。
全国に165支部、海外にも多くの出張所があります。
今日はこの天下の名城の天守閣の前に皆様をお迎えして茶会をすることができ心から喜んでおります。
どうぞご来席くださいますようお願いしております。

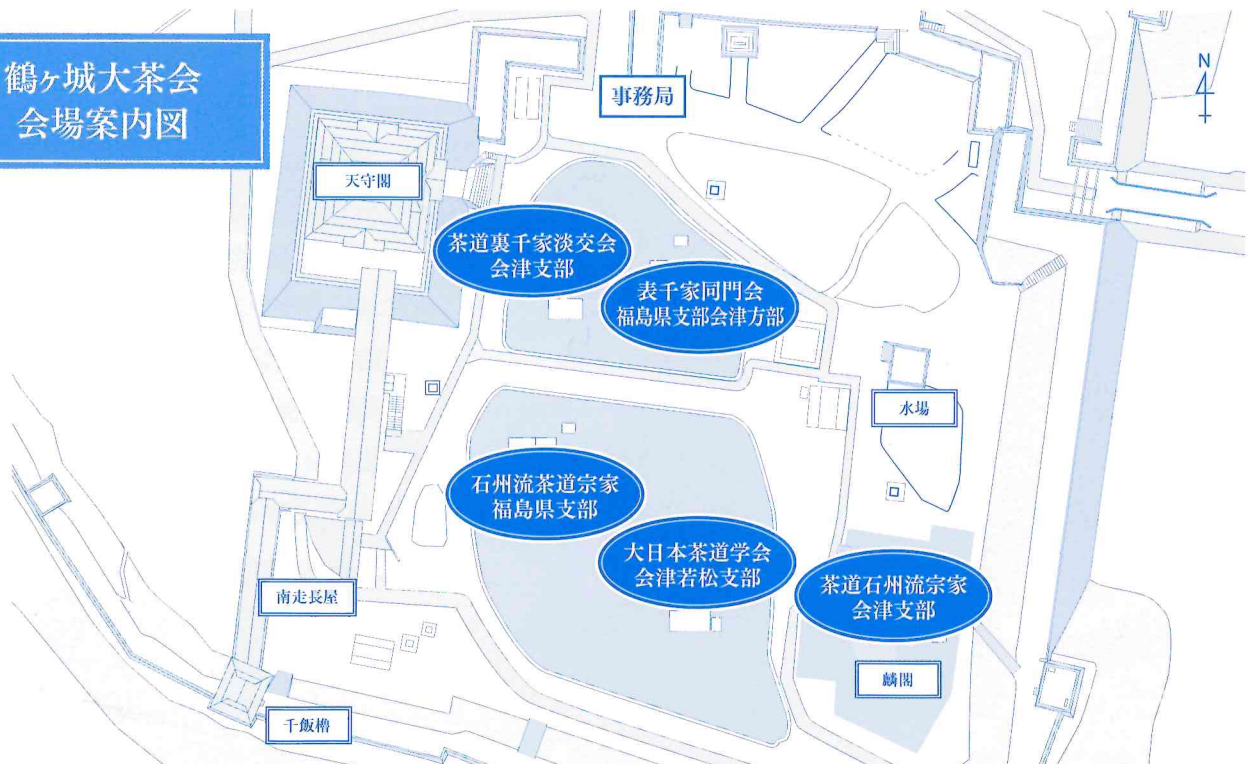
せき しゅうりゅう さ どう そう け

石州流茶道宗家 福島県支部

石州流はもののふ(武士)の茶道です。
流祖片桐石州は、奈良県大和小泉の大名家に生まれました。「武家茶、大名茶」です。徳川四代将軍家綱の茶道指南となったことで、幕府の茶道として代々受け継がれてきました。
石州流では、シンボルマークとして大中小の三ツ輪があり、水玉を表しております。これは、水がどんな型の器にも応じるように、人間もその世界に応じて生きる無限の可能性が備わっていることを示しているものです。
武者点での茶席で「馬上杯」による一服をお楽しみ下さい。



鶴ヶ城大茶会 会場案内図



鶴ヶ城大茶会実行委員会